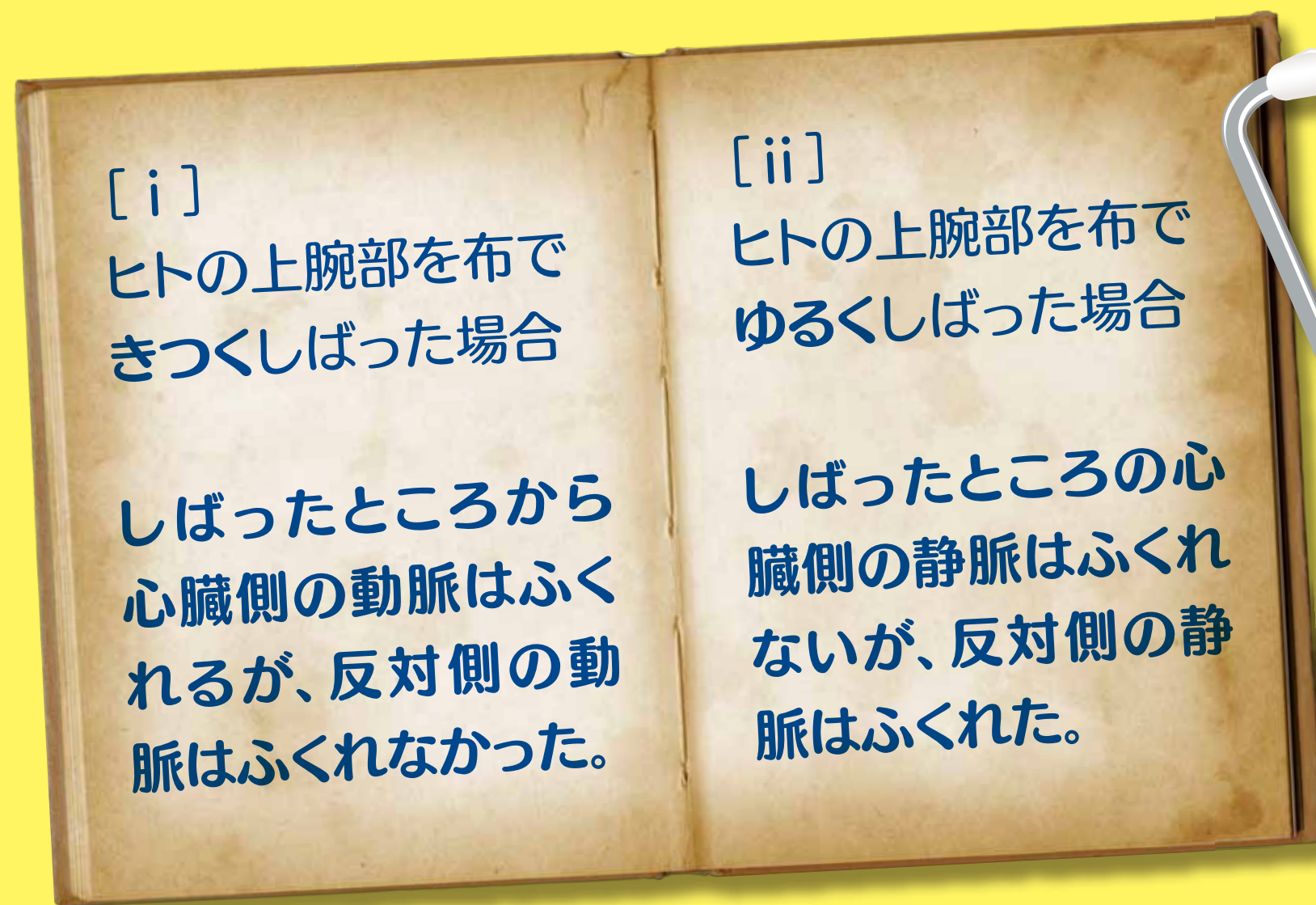


17世紀のはじめまで、血液が体内を循環しているという考えはなく、血液は腸から吸収した栄養分をもとに肝臓でつくられ、静脈を通して全身に配られて消費されるという考え方でした。一方、イギリスの解剖学者ハーヴェイは、ヒトの体内を流れる大量の血液が肝臓だけでつくられているはずはなく、さらに血液は体内を循環しているのではないだろうかと考えていました。そして多くの動物解剖から得た知見や、腕の各所を布でしばっては解くといった実験などから、1628年に「血液循環説」を発表しました。ハーヴェイが行った実験の1つに、次のようなものがあります。



ハーヴェイは、[ii]の反対側の静脈をふくらませた血液は動脈から送られてきたものに違いないと考え、血液循環という考えが確信に変わったといわれています。

問 ヒトの上腕部のしばり方で
血管の観察結果が異なる理由を簡潔に答えなさい。

2014年
中学入試問題
海城中学校
からの出題

シカクい
アタマを
マルくする。



未来へのチカラ

答えがひとつでない問題は、
「これがいちばんいい答えかな」
と思っても、
「絶対に正しい」
とは言い切れないから、
もっともっと考え続けられる。
(ある受験生の言葉)
終わらない学び。
「考える」×「続ける」。
中学入試問題ワールドへ、ようこそ!

解答例・解説はこちら

日能研 検索

www.nichinoken.co.jp



シカクいエコをマルくする。
日能研のエコ活動。

今回のN-eco

FSC認証紙 ライスインキ 水なし印刷